

# KEM News Letter 2号

## 2016年度 KEM ハンズオン及びサマーセミナーが開催されました



### ハンズオンセミナー及びサマーセミナー が開催されました

日時：2016年8月25日（木）

場所：日本大学歯学部（東京・御茶ノ水）

大会長：小木曾文内（日本大学）

実行委員長：勝呂尚（日本大学）

テーマ：「最新のNiTiファイル」

講師：武市収先生（日本大学）

喜多詰規雄先生（千葉県開業）

富永尚宏先生（長崎県開業）

佐藤暢也先生（秋田県開業）

石井信之教授（神奈川歯科大学）

北村和夫先生（日本歯科大学）

13:00~17:00ハンズオンセミナー

17:15~19:30サマーセミナー

その後ビアパーティーを開催

参加者は118名

協賛：株式会社松風、株式会社ヨシダ、長田電気工業株式会社、株式会社茂久田商会、デンツプライ三金株式会社、東京歯科産業株式会社

下山 泰明

埼玉県開業

関東歯内療法学会第20回サマーセミナー及び第18回ハンズオンセミナーが、2016年8月25日に日本大学歯学部で開催された。

テーマは”最新のNiTiファイル”である。

定員120名の事前予約は満席の様であった。

まず、(VDW “Mtwo” 松風) (SybronEndo “K3XF” ヨシダ) (ReDent Nova LTD “SAF” オサダ)(VDW Zipperer “RECIPROC” 茂久田)

(DENTSPLY Maillefer “WaveOne Gold”+ ”pro glider” DENTSPLY 三金)

(COLTEN “HyFlex” 東京歯科産業)と6種類のファイルのハンズオンセミナーから開始である。日大の実習室を2部屋使用し、各ファイルごと20名ずつに分かれローテーションにて行われた。内容は、各社の講師により簡単な特徴や使用法を解説頂き、弯曲のあるレジンプロックの穿通と各社NiTi fileでの拡大形成である。

メーカー主催で行われているハンズオンコースが

一日で一社と考えると、1ファイルにつき30分の駆け足実習であることは否めないが、一度に6種ものファイルに触り比べる機会は私的に買い揃えない限りはないと思われる。

またとないチャンスと思い、楽しみに参加した。ファイルの選択においては、術者がどのような考えかたを持っているかで、考え方に合う製品を選択すれば良いと思う。

また、ほんの少し触れたに過ぎないので個別の感想は控えるが、私は非超弾性NiTiのHyFlexファイルと他のファイルと全く異なる使用感のSAFに興味を持った。

共通して言えることは、NiTiどのファイルを使うとしても、手用ファイルでの穿通性を確保した上で、そのファイルごとの使用法を守り正しく使用することで

NiTiファイルに付きもののファイル破折を起こしにくく、安全に使用できるのではないだろうか。多くを望むのは贅沢だが、拡大するレジブロックが共通のものであったら、

なお一層のこと各ファイルの違いや癖が把握できたのかもしれない。

次に講堂に会場を移し、辻本恭久学会長と小木曾文内大会長のご挨拶を頂きサマーセミナーが行われた。

講師は実習時にも解説頂いた、Mtwo 武市収先生、K3XF 喜多詰規雄先生、SAF 富永尚宏先生、RECIPROC佐藤暢也先生 WaveOne Gold石井信之先生 HyFlex 北村和夫先生 により各ファイル15分ずつ解説を頂いた。

最後に総合討議が行われ閉会となった。

会場を中央大学記念館プリオールへと移動し、恒例のビアパーティがおこなわれ大いに盛り上がった。

午後1時から9時までの長丁場であったが、貴重かつ為になるセミナーであった。

大変だったのは120名で6種類のハンズオンという段取りをしていただいた実行委員の先生方、短時間に内容を凝縮しなければならない講師の先生方、

モーターやファイルを用意して下さった各メーカーの方々だったと思います。この場を借りて御礼申し上げます。

神田 善姫

東京都開業

2016年8月25日(木) 関東歯内療法学会特別企画、第20回サマーセミナー&第18回ハンズオンセミナー「最新のニッケルチタンロータリーファイル」が日本大学歯学部2号館で行われた。6社のニッケルチタンロータリーファイルを体験できるとあり人気も高く約120名の参加者が集まった。2つの実習室に分かれ各6社20数名ずつが20分毎に実習をし、ローテーションする仕組みである。まず、株式会社松風「Mtwoファイル」を日本大学歯学部歯科保存学第三講座准教授の武市収先生が、Mtwoの特徴と臨床的応用の実際を説明し、透明根管模型で実習を行った。1ブロック20分経過後、次のブロックに移動して実習を行うスライド形式。株式会社茂久田商会「レシブロック」は秋田県開業 佐藤先生が1本のファイルですべての根管形成～根充まで行うレシブロックシステムによるスピード根管形成を、デンツプライ三金株式会社「ウェーブワンゴールド」「プログライダー」は、神奈川県歯科大学口腔治療学講座歯内療法学分野教授石井先生が、安全に迅速な根管形成を行うには、すべてのニッケルチタンファイルを使用する前に、ストレートラインアクセスと グライドパス形成が重要であるとし、プログライダーによるグライドパス形成の重要性を説いた。株式会社ヨシダ「K3KFファイル」は、千葉県開業、

喜多詰先生が疲労耐久性と柔軟性の向上により、ランニングコストの低下し日常臨床でも応用しやすいことを説明した。長田電気工業株式会社「SAFファイル」は長崎県開業、富永先生が、独特の形状をもったファイルで最小限の侵襲で根管拡大、形成を行えるとし実際に実習すると、従来のロータリーファイルとは異なる新しいファイルであることを体験した。東京歯科産業株式会社「ハイフレックスEDM」は日本歯科大学付属病院総合診療科教授 北村先生が、自由自在に曲がるが熱を加えると元の形態に戻る形状記憶性をもった注目の新しいニッケルチタンファイルを紹介し、お湯につけて瞬時に戻る様子は周りから歓声があがった。

その後、小木曾大会長の開会の挨拶で始まり、各講師陣が特徴を説明しハンズオンセミナーの知識の整理ができた。大会最後まで熱いディスカッションが続き、満員御礼の会場で、エンドの人気と重要性を実感した有意義な1日であった。

アンケートより抜粋（回収61枚）

**Q今回のサマーセミナーに参加されていかがでしたか？**（満足58枚、普通3枚）

・同時に6種類のファイルを使い比べることが出来、比較しやすかった。ただブロック模型が各ファイル同じだったら、なお比べ易かったと思う。

・各種のNiTiファイルのを使い比べが出来て、購入の目安ができた事、システムもとても良く出来ていた。

・NiTiファイルの実習がこんなに出来るなんて凄いです！！

**Q今回の講演の内容は、今後の診療に役に立ちますか？**（満足52枚、普通7枚、記載なし2枚）

・購入の際の助けとなった。  
・根管拡大中の洗浄と根尖までグライドパスの確保。

・ハンズオンとして手を動かした事により、実際

の診療としてどのように使えるかがイメージしやすかった。

・実際の使用する事ができてよく理解する事ができた。もう少しハンズオンの時間が長く取れると もっと良かった。

**Q今回よく理解できた事は何でしたか？**

・グライドパスの重要性  
・各NiTiファイルの使用感、どの程度切削できるかなど。

**Q今回あまり理解できなかった事は何でしたか。**

・導入するにあたって、コスト的な各社の差  
・それぞれのファイルの欠点。欠点という目線で見たそれぞれのファイルの違い。  
・メーカー主体で臨床的でない。

### 2017年度第16回学術大会／総会について

日時：2017年2月19日（日）9:50~16:45

場所：東京千代田区

秋葉原コンベンションホール2F

大会長：北村和夫（日本歯科大学）

実行委員：山崎孝子（日本歯科大学）

テーマ：歯を保存するために！

講師：平井順先生（神奈川県開業）、寺内吉継先生（神奈川県開業）、Jun Sang Yoo先生（韓国ソウル大学教授）（講演順）その他

一般講演募集中

詳細webにて記載

関東歯内療法学会のホームページをご覧ください。

<http://jea-kantoh.jp/index.php>

皆様からのご意見ご希望などをMailにてお待ちしております。

事務局アドレス：[golden-circle@nifty.com](mailto:golden-circle@nifty.com)